

牧師所感：

日本牧師の友情

—韓国人牧師を配慮—

過ぐる一週間、テレビの映像を通して、気象予報士は、太平洋からとても強い勢力の台風が到来するので万全の防備をするようにと、警告を発せられた。

過ぐる一週間（8月12～18日）、警告を受けた私共 関東地方の住民は、以前（2019年9月15日前後）猛烈な台風の襲来によって、多大なる被害を被ったことを想起した。

その時 千葉県八街市に所在の我が教会では、一ヶ月間 停電により、苦難を強いられた経験がある。今年の台風も 関東地方を通り過ぎて北上するというので、気が気ではなかった。

ところが 気象予報士の警告を聞かれた 名古屋居住の 同僚の日本の牧師より、緊急の時 発送する速達便で、安否を問うてこられた。何という友情だろうか。

頌主

台風7号が 千葉県、東京都 他に接近し、大雨、大風をもたらしているとの報道を聞いています。申鉉錫先生、御奥様、教会、牧師館の施設は守られるのだろうかと心配しています。主なる神様の導きによって 八街市において 福音を伝えてこられた 申鉉錫先生が 守られて 無事であられることを、切に 祈っています。「神は我らの逃れ場、我らの力。苦難の時の傍らの助け…… 地が揺らぎ、山々が崩れ落ち、海の中に移るとも」（詩篇46、2～4、聖書協会共同訳）とにかく 居ても 立っても おれなく 祈って、申鉉錫先生にお伺いを差し上げる気持ちとなりました。神様の守りと助けを祈っています。

主にありて 松浦剛

以上の先生の御心配をよそに、珍しく 台風は一部の海域に 暴風と雨を降らせたが、Uターンして 海上へと向きを変えて行った。

さて、上記の友情の手紙を御紹介したが、筆者には、日本全国に 大勢の友人牧師がおられる。ところで 諸先生方が、信徒の皆さん、日本国で 60 年以上の宣教を支えて下さったことに 敬意を表する！！